

資料①：第 1 回会議の議事録

(平成 28 年 8 月 18 日開催)

平成 28 年 12 月

南 城 市

1. 南城市地域公共交通網策定の進め方について

番号	委員	事務局
1-1	9月5日の区長会でアンケート調査の説明や調査票配布を行うのか？	9月5日の区長会で説明及び調査票配布を実施予定 →9月5日に実施
1-2	ヒアリング調査での市外の事業者選定の考え方を教えて欲しい。	南部周辺の事業者を選定対象としている
1-3	アンケート・ヒアリング調査の把握項目に「周辺市町村とのネットワークの考え方」とあるが、具体的に想定している市町村を教えて欲しい。	路線バスの南部東道路への経路変更の影響がある与那原町と南風原町その他、現在公共交通の結びつきが弱い八重瀬町や糸満市、豊見城市を想定している。
1-4	アンケートでデマンドバス登録者数の少ない行政区の原因を探ってみてはどうか。	既存の調査で、急傾斜地の行政区の利用が多い等の傾向は把握しているが、アンケートでも工夫して原因を把握できるようにしたい。 →第3回会議で提示
1-5	網形成計画で観光面とどう結びつきをつけるのか教えて欲しい。網形成計画の章立てには、直接「観光」について出てこない。南城市の都市マスタープランを支える網形成計画を考えていくなかで、観光客の意向等、観光についてどう記載していくのか、次回の委員会で方向性を知りたいと思う。	去年、南城市内に訪れた観光客を対象にヒアリング調査を実施したので、この調査結果を活用し網形成計画に観光に関することを反映したいと考えている。 →資料③P12、資料⑤P3にH27観光客調査の結果を紹介。また、今年度は観光協会、観光施設を対象にヒアリングも実施
1-6	ワークショップのメンバーは、高校生や高齢者など属性別に構成してもいいのでは。	現時点では、様々な属性でグループ構成することによって、グループワーキングに刺激を与えたいと考えているが、今後も色々検討していきたい。 →第4回で高校生のみの班を設けた
1-7	ユインチホテルの大型駐車場の収容数2,000台は、南城市にとって大きいものか。	北谷町の公共駐車場が1,500台ということ を考慮すると、県内の公共駐車場の中では、大きいと考えている。

2. 「おでかけなんじい」の増便ルールについて

番号	委員	事務局
2-1	4台への増便時には、車検や故障の緊急時にも対応できる予備車を含めた台数を準備してほしい。	4台への増便時は、車両を1台追加する予定である。
2-2	最大何日前からデマンドバスの予約が可能なのか。	南城市のデマンドバスの利用対象者は、30日前から予約が可能である。
2-3	1台当たりの平均乗車人数よりも、予約の断り人数を増便の判断材料にすべきと思う。走らせれば走らせる程、赤字が増えていく状況でもあり予約の断りによって機会損失が出ていることを重視すべきだ。	予約の断り件数を増便の判断材料として改めて検討したい。「断りの理由」はシルバー人材センターが試行錯誤で行っており、記録方法の見直しも合わせて考えたい。 →9月に記録方法を見直し
2-4	増便の際に、30分前の急な予約で運転手を増やさないといけない状況になった場合、運転手の人数の確保は充分なのか。	増便案が可決された場合、利用者がいてもいなくても、運転手は配置し待機させたいと思う。事業者には、前もって説明を行い、了承を得ている。
2-5	運転手の出勤の点呼はどこで行うのか。	営業所で行き帰り点呼を行っている。
2-6	運転手の休憩時間はどれくらいか。	1時間で45分運行、残りの10分~15分で休憩をとっている。